

資料提供

がんばる企業を応援します！



公益財団法人

滋賀県産業支援プラザ



(公財) 滋賀県産業支援プラザは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています

提供年月日： 令和6年(2024年)2月27日
所属名： (公財)滋賀県産業支援プラザ
所属課名： 情報企画課
担当者名： 杉江、徳久
電話： 077-511-1411
E-mail： jouhou@shigaplaza.or.jp

コラボしが 21 1階展示コーナーGALLERY

「百葉繚乱 創作小品展」

(公財) 滋賀県産業支援プラザ (大津市打出浜 2 番 1 号) が管理運営する展示コーナーGALLERYにおいて、新しい展示が始まりますのでお知らせします。

1.催事名

「百葉繚乱 創作小品展」 (西垣郁二氏による展示)

2.開催日時

令和 6 年 3 月 4 日 (月) ~3 月 28 日 (木) 9:00~17:00 ※土日祝日は休み

3.会場

コラボしが 21 1階 展示コーナーGALLERY (大津市打出浜 2-1)

4.内容

大津市在住の西垣郁二氏が、美術に関わる専門知識を生かした創作活動による作品を紹介し、販路拡大につながる展示を開催します。

展示のメインは、「葉」を題材に、インクジェットプリンターとレーザープリンターを使い、多種多様な葉の色や形の美しさ、若葉から落ち葉への移ろいを表現した作品です。

また、西垣氏が大手百貨店の美術部に在籍中、日本画や木彫、ガラス工芸など幅広いジャンルの美術品を担当し、定年を機に 30 年間培った知識をまとめ出版した書籍「京・風雅の流れ」も併せて紹介します。

5.料金

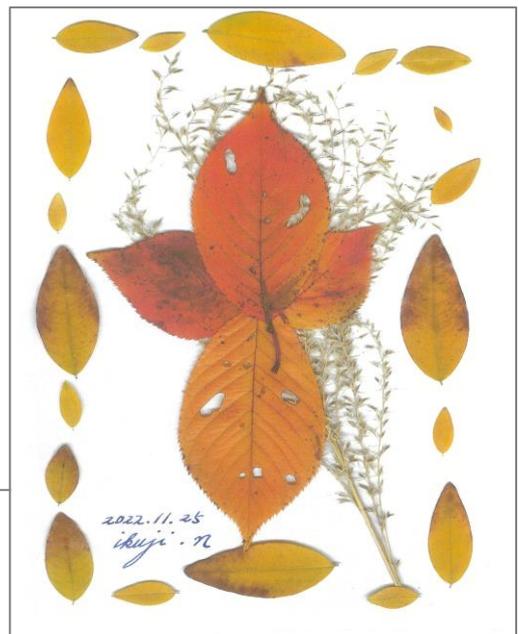
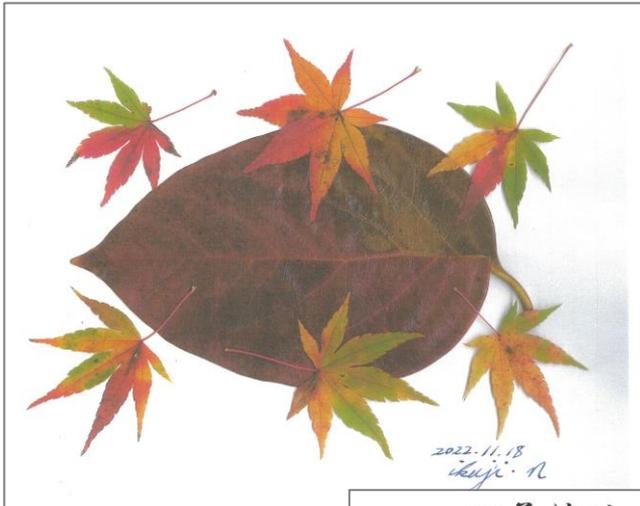
入場無料

6.主催

(公財) 滋賀県産業支援プラザ

7.備考

展示コーナーGALLERY は、滋賀県内に事業所のある中小企業の製造品、特産品、新製品、新サービス、新技術等の展示の場として、滋賀県産業支援プラザが運営しています。



百景繚乱

(葉っぱは美しい)

古来より四季に咲く花々は、たくさんの人に愛でられて来ました。「きれい」、「かわいい」、「美しい」、「香りがいい」、などと表現されて愛されています。

しかし、視点を変えて花を見ますとその華やかさの横で、生き生きと「葉っぱ」が存在感を示しています。

そして、花が咲くまで一生懸命に栄養を作り酸素を補給します。すなわち、光合成を行ない世界の二酸化炭素 (CO2) を吸収し、世界に酸素を提供しています。

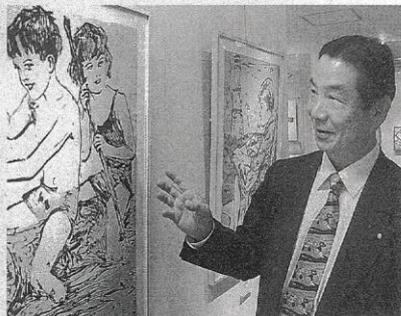
そして時には木陰になったり、食べられる木の実を作るお手伝いをしたり、大変な役割を担っています。

そしてまた、秋には紅葉していき見事な色合いを披露してくれます。そんな「葉っぱ」の若葉から紅葉の一年を表現いたしました。

読書

本を語る

百景には、その通り筋の名称がある。西垣さんご本人、大丸京都店の美術部に在籍し、日本画や本彫、ガラス工芸など、幅広いジャンルの美術品を扱って来た。今年、定年を迎えたのを機に、二十年間培った知識をまとめたのが本書だ。「美術の参考書代わりしてほしい」と、明治時代以降の日本の美術を解説している。西垣に生まれ育ち、父が勤めていた同店に就職。鳥居、外巻を経て、美術部に配属された。店内には陶器とアトサロンの二種類のコーナー



「京・風雅の流れ」の西垣 郁二さん

「作品のお話する際、専門的な語句を使う」ともたびたび、「用を導くためにも『知りません』とは決して言えません、必死でした」。作家は誰か、いつか作られたか、作品の良さを持て味、作家の動向も興味。毎日、専門知識を頭にたさ込み、美術部員の間で知識を共有していた。そんな日本画家の梅原龍二

美術楽しむきっかけに

西垣さんご本人は、美術部員として毎日、店頭に通って、「この本が美術を楽しむきっかけになるだろう」と、良い作品をおききまに提供できるように、今も毎日勉強です(京・風雅の流れ)は、著者梅原 龍二(一九〇〇年)

店頭で美術品への思いを語る西垣さん(京都市下京区・大丸京都店)

「京・風雅の流れ」は、京・風雅な各項目ごとに、梅原龍二の歴史的な流れ、京都を代表する作家の動向、用解などを紹介している。随所に紹介された絵は三輪兜久さん、井川千恵子さんによるもので、西垣さんの出版費同して描き下ろしたという。西垣さんご本人は、美術部員として毎日、店頭に通って、「この本が美術を楽しむきっかけになるだろう」と、良い作品をおききまに提供できるように、今も毎日勉強です(京・風雅の流れ)は、著者梅原 龍二(一九〇〇年)

